

会議録（要旨）

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ

（委員会の成立）事務局から委員全員の出席による、委員会の成立が報告された。
（傍聴者の報告）事務局から傍聴者が1名であることが報告された。
傍聴者1名の入室が許可された。

- 3 議事（1）「市民活動推進委員会提言書」について

<委員長から報告>

資料 市民活動推進委員会による令和2年度提言に対する申入れ書（概要）
第3回会議以降、12月25日付で委員5名の連名による「市民活動推進委員会による令和2年度提言に対する申入れ書」の提出を受けた。
本日の資料として事前送付した提言書（案）については、1月20日と2月3日の2回に渡り小委員会を開催し、第3回会議までの委員の意見と申入書の内容について協議し、その結果を反映したものである。
なお、提言書（案）に記載した事項はいずれも本委員会で議論が交わされた事項としている。

<事務局から説明>

資料 市民活動推進委員会提言書（案）
タイトルや構成、提言の内容について説明した。

<小委員会委員より>

- ① 1 p “1. はじめに” の4段落後ろ2行について、「本委員会では、『With コロナ時代』であるからこそ、市民活動を活性化させ、地域力を高め、市民活動を点から線、線から面へと広げるため、その拠点となる『市民活動支援センター』の設置について提言いたします」と改めたほうが主旨が明確になるのではないかと、
➤ 上記のとおり修正する。
- ② タイトルを“設置に関する提言”とするのであれば、提言（1）についての提言となるので、（2）（3）は並列にせず、（1）に含めたほうが良いのではないかと、
➤ 提言は（1）のみとし、（2）（3）は（1）に含める。
- ③ 2 p～4 pの“解消を期待する課題”は再掲となるので、削除したほうが提言が明確になるのではないかと、
- ④ 2 p～4 pの“解消を期待する課題”は再掲となるが、（1）の記載は残し、（2）（3）は削除してよろしいのではないかと、
➤ センター設置の必要性と効果について記述した上で、提言に繋げる。

- “解消を期待する課題”は、“効果”と改める。
- “解消を期待する課題”は、(1)の記載は残し、(2)(3)は削除する。

⑤ 3 p “主な機能”について、①～⑥の語尾に全て“機能”を付す表記に統一したほうが良いのではないか。

- 上記のとおり修正する。

<委員からの意見>

- 委員 5 名の連名による申入書について、市民活動に対する支援は、求めに応じて支援するものである。行き過ぎた提言にならないよう、注意が必要である。
- 3 p 提言 (2) 2 段落 1 行目の「やしお生涯学習館全体を活性化させるため」は、運営委員会の役割にそぐわないため、削除すべきである。
 - (事務局より) 運営委員会について、“センターを設置するための設置準備検討委員会”か、やしお生涯学習館の運営を盛り上げることで、本市の市民活動を含む生涯学習の活性化を目的とした“センターを含む学習館全体の運営について助言する運営委員会”か、本委員会の中でも各々の認識の違いがあるようである。本委員会での今までの議論で指していたのは後者との認識である。
- 提言 (2) (3) を (1) に含むのであれば、提言 (2) 「やしお生涯学習館全体を活性化させるため」の文章があると、センターの職分を超えてしまうため不適切なのではないか。
 - (事務局より) 今回の提言はセンターの設置について記述しているが、設置の範囲 (やしお生涯学習館内の一部なのか、全体なのか) や実施事業については各委員に認識の違いがあるのではないか。
 - (委員より) 今回の提言は、センターの設置という大目標について絞った上で、運営方法 (運営委員会の設置や民間への委託等) について具体的な内容は、提言を受理した行政側の判断になる。提案としてこの文章のまま残してよろしいのではないか。
 - (委員より) コーナーの発展的解消からセンターを設置するのであれば、やしお生涯学習館との連携は必要になる。「市民活動支援センターの充実を含め、やしお生涯学習館全体を活性化させるため」の文章はこのまま残してよろしいのではないか。
- タイトルが長いのではないか。協働のまちづくりを進めるための提言 (副題: 市民活動支援センターの設置) ではどうか。必要性を説く部分が弱い。

- センターがやしお生涯学習館内でどう位置づけされるのか、本委員会の理想は記載すべきではないか。
 - 1 p “1. はじめに” の4段落後ろ2行について、「しかしその一方で、行動に制約があるコロナ禍の状況下では身近な地域に目を向ける人々が増加していくこともあり、市民活動が活性化していく可能性がありま
- す。」という文章に改めると、センター設置の必要性につながるのではないか。

<委員長より>

今回が、今期の委嘱期間の最後の委員会となる。任期中に提言をまとめるため議論してきたが、提言に記載する事項やその具体的な内容等について委員の認識の違いがあり、提言としてまとめるにはもう少し議論が必要と感じる。現行メンバーとは異なってしまうが、提言の提出は次期委員に引き継いではどうか。その場合は、年度末や任期末ではなく、委員の了承が得られた段階で提出してはどうか。

- （委員より）本日の修正は修正案ができ次第各々書面で確認し、今任期中に提言することが望ましい。
- （委員より）修正は委員長に一任し、今任期中に提言することが望ましい。
- （委員より）委員長試案又は報告書という形で、今任期中になんらかの成果物を渡すことが望ましい。この場合の内容は委員長に一任する。
- （事務局より）議事の経過及び現段階の提言書（案）と、提言するにあたっての課題を報告書としてまとめ、今任期中に提出する。

【まとめ】 提言については、各委員の認識の違いを踏まえ、改めて課題などを整理する必要がある。その上で、次期委員会において議論を深めていただき、次年度の委員により提言がまとまった段階で提出する。また、今期委員会の成果物として議事の経過及び現段階の提言書（案）と、提言するにあたっての課題を報告書としてまとめ、提出する。この報告書の内容は委員長に一任する。

4 その他

(1) 今後のスケジュールについて

- ・年度内に報告書をまとめ、市長（担当課）へ提出する。
- ・今期の委嘱機関が3月末日で満了となる。次年度は改めて委員の委嘱を行う。公募委員の募集について、広報やしおの4月10日号に掲載する予定である。

5 閉会